



男女共同参画 審議会委員

任期 7月1日から2年間※審議会は平日昼間に開催(年1回程度)

内容 「男女共同参画プラン」の推進などについての審議・提言

対象・定員 市内在住・在勤の方、2人(他の審議会の委員に委嘱されている方は除く)

選考 レポート審査

申・関 5月13日(金)必着で郵送、持参。任意の用紙に「我孫子市の男女共同参画社会づくり」についての意見(800字程度)と、住所、氏名、年齢、性別、電話番号、Eメールアドレスを明記。〒270-1192 市役所男女共同参画室(住所省略可)・内線419

第9回 あびこカップまつり イベント出演者



8月27日(土)(雨天時28日(日))に行う「あびこカップまつり」のステージイベントに出演しませんか。

出演時間 午前11時～午後5時の間の15分間(出演スケジュールは実行委員会決定)

対象 市内で活動している団体・グループ(申し込み多数の場合は実行委員会による抽選)

申・関 5月31日(木)までに申込書(ホームページからダウンロード可)をファクス、Eメールアドレスで実行委員会まで。☎「あびこカップまつり」で検索 ☎7128-4243、✉kappa@abikokappa.com、☎080-6652-9229

全日本鳥フォトコンテスト in JBF2016 作品募集



全日本鳥フォトコンテスト(BIRD-1グランプリ)は、日本最大級の鳥のイベント「ジャパンバードフェスティバル」の実行委員会が主催する野鳥写真の公募展です。グランプリ作品には、文部科学大臣賞(生態・行動部門)、環境大臣賞(環境部門)が授与されます。ぜひ力作をご応募ください!

テーマ ①生態・行動部門…飛翔やさえずり、採食、水浴び、かわいい・かっこいい表情など、鳥たちが見せてくれるさまざまな行動や生態を捉えた写真 ②環境部門…四季折々のさまざまな風景の中にある鳥たちの姿、生息環境の異変や変化の中で生きる鳥たちを写した、問題提起の意味も込めた写真

全日本鳥フォトコンテスト2015のグランプリ作品



「明日への飛び出し」塚原敬司さん

「Night Life」水中伸浩さん

賞位 グランプリ…各1点(賞金5万円、賞状、副賞)、準グランプリ…各1点(賞金2万円、副賞)、入賞(副賞)※入賞作品は、引き伸ばしてパネルを展示します。

応募形態 2Lサイズ(127×178ミリ)のプリントと、2MB以上のデジタルデータ(JPEG)をCDまたはDVDで提出。各部門1人3点まで(複数の場合には展示優先順位を明記)。国内外を問わず、未発表の鳥の写真(自身のホームページや展覧会などで、営利を目的とせずに発表されたものであれば応募可)※原則として営業中を撮影したもの、餌付けを使用したものなど、鳥の生活に大きな影響を与えていることが明白な写真(詳しくは、全日本鳥フォトコンテストのホームページにある「野鳥写真撮影のマナーについて」をご覧ください)や、合成写真(軽度の色、明るさの調整などは可能ですが、作品の重要な要素となるような加筆、削除などの二次的な画像加工処理を施した写真)は選考の対象となりません。また、組み写真は個々の写真としては選考対象ですが、組み写真としての選考は行いません。※デジタル一眼レフカメラ、デジスコなど撮影機材は問いません(ポジフィルムで撮影された作品でも、デジタルデータに変換されたものであれば応募可)。

応募方法 応募写真の裏側に必要事項を記入した専用の応募票を貼り付け、記録メディアと一緒に郵送してください(応募作品、記録メディアの返却不可)。※応募票は、ジャパンバードフェスティバル公式ホームページ(☎http://www.birdfesta.net/)からダウンロードできます。

募集期間 5月16日(月)～8月19日(金)必着

応募手数料 1部門(3点以内)1000円。無記名の郵便為替(普通為替または定額小為替)を作品とともに同封してください。

審査員 石丸喜晴さん(デジスコ写真家)、叶内拓哉さん(野鳥写真家)、戸塚学さん(野鳥写真家)、♪鳥くん(我孫子鳥の大使)、中野泰敬さん(野鳥写真家)、JBF実行委員

入賞作品の発表 ジャパンバードフェスティバル2016期間中(11月5日(土)・6日(日))、アビスタ会場に展示するほか、JBF公式ホームページに掲載します。

主催 ジャパンバードフェスティバル実行委員会

送付先 〒270-1192市役所手賀沼課(住所省略可)「全日本鳥フォトコンテスト」係まで

関 手賀沼課・内線468

空き店舗活用補助制度 ～対象エリアが拡大～

市では、まちの賑わいづくりのため、空き店舗を活用した新規出店者に最大100万円を補助する「空き店舗活用補助金」制度を設立しています。4月1日から対象エリアを拡大し、我孫子地区を追加しました(我孫子駅前の南北を除く)。対象エリアや申請条件など詳しくはお問い合わせください。

対象業種 商店会の集客およびイメージアップに有効な小売業、飲食業、サービス業

対象経費 店舗改装費の2分の1(限度額40万円)、賃借料の2分の1(限度額月額5万円を1年間分)

関 商業観光課☎7185-1475



募集 **第22回 楽手賀沼エコマラソン 出場者**
日時 10月30日(日)午前10時スタート※雨天実施
場所 柏ふるさと公園(手賀沼周辺)
種目 ハーフマラソン(21.0975km)
対象・定員 次の条件を満たす18歳以上で健康な方、9000人(市民枠3000人、一般枠6000人)①アマチュアであること ②ハーフマラソンを2時間30分以内で完走できる方(厳守)
※関門制限時間10:55km 午前11時30分、16:55km 午後0時15分
費用 45000円
申込方法 市民枠、一般枠ともにランネットホームページ(☎http://runnet.jp)のみとなります。
①市民枠(市内在住・在勤・在学)：5月10日(火)午後8時～15日(日)
②一般枠(①の申込み以外の方)：6月1日(水)午後8時～5日(日)

〈共通〉参加者は、エントリー成立後一週間以内に振り込みしてください。10月上旬に案内を郵送します。今大会からコースの一部変更をします。詳しくは今後の広報あびこ市ホームページでお知らせします。
関 教育委員会文化・スポーツ課☎7185-11604
※平日午前8時30分～午後5時

ボランティア募集

日時 10月30日(日)午前6時30分～午後3時30分
対象 次の条件を全て満たす18歳～70歳ぐらいで健康な方、先着2000人程度
①我孫子市・柏市在住・在勤の方 ②手賀沼エコマラソンに関心と理解がある方 ③責任を持って業務を遂行できる方
④10月16日(日)午前9時～正午の打ち合わせに出席できる方
申・関 5月27日(金)(消印有効)までに往復ハガキに「ボランティア希望」と明記し、住所・氏名・年齢・性別・電話番号と返信面のおて先を明記。〒277-10004 柏市柏下73手賀沼エコマラソン実行委員会事務局☎7167-18345
※平日午前9時～午後4時